

「京都・亀岡保津川公園」におけるアユモドキ保全のための対策について

京都府と亀岡市は、これまでに「アユモドキ等の自然環境と共生する公園・スタジアム」を実現するため「亀岡市都市計画公園及び京都スタジアム(仮称)の整備計画の策定にあたり考慮すべき基本方針(以下、「基本方針」と言う。)(Ver. 2)」(平成28年3月31日)を策定し、「京都スタジアム」(仮称)建設地を亀岡駅北区画整理事業地に変更したことに伴い「京都スタジアム(仮称)整備事業に係る環境への影響について」をまとめ「基本方針(Ver. 3.1)」(平成29年7月14日)として公表してきた。

また、亀岡市都市計画公園「京都・亀岡保津川公園」におけるアユモドキ保全のための対策については、平成27年度に実施したアユモドキ生息環境調査や平成28年度以降も実施している実証実験で得られた知見等をもとに、環境保全専門家会議委員をはじめ関係の専門家から御意見をいただきながら、検討を進めてきており、近く「基本方針(Ver. 2)」を補完する基本方針として下記のとおり取りまとめる。

1 「基本方針(Ver. 2)」の発表以降実施している調査等

平成 27 年度

◇ アユモドキ生息環境調査

仔稚魚調査、餌生物調査(糞分析)、プランクトン調査、底生動物調査、
水路の物理環境調査

平成 28、29 年度

◇ 繁殖実験地のモニタリング調査

植生調査、親魚の進入・産卵状況調査、仔稚魚の生息・成育状況調査

2 これからの対応

上記調査等で得られた知見を「亀岡市都市計画公園及び京都スタジアム(仮称)の整備計画策定にあたり考慮すべき基本方針(Ver. 3.2)」としてとりまとめる。

(参考) 「京都・亀岡保津川公園」区域等におけるアユモドキ生息環境調査等の成果に係る

これまでの専門家会議及びワーキング会議での協議経過

- 平成 28 年 2 月 25 日：第 26 回環境保全専門家会議
 - 「アユモドキ仔稚魚期の生息場としての水路環境条件について」を報告。成長にともなう河川及び水路での移動状況、また、成長段階や水路環境の違いによる餌料生物の特徴などについて議論された。
- 平成 28 年 3 月 30 日：第 27 回環境保全専門家会議
 - 「アユモドキの仔稚魚期の生息場としての水路ネットワーク評価について」* 1 を報告。仔稚魚期の餌料生物となる動物性プランクトンや底生動物と水田、水路との関係について議論された。
- 平成 28 年 4 月 27 日：座長提言
 - アユモドキの将来にわたる保全環境を早期に確立させるため、地域の保全活動を維持・発展させるためにも必要な地域の振興・活性化の拠点となるスタジアム整備を早期に実現させる必要があるとの観点から、スタジアム建設位置を亀岡駅北土地区画整理事業地に変更することを提言。
- ・ 平成 28 年 5 月 13 日：第 78 回ワーキング会議 …… * 1 を協議
- ・ 平成 28 年 6 月 13 日：第 80 回ワーキング会議 …… 同上
- 平成 28 年 8 月 24 日：京都府・亀岡市が座長提言の受け入れを表明
- 平成 28 年 9 月 6 日：第 31 回環境保全専門家会議
 - 「亀岡市都市計画公園及び京都スタジアム（仮称）の整備計画の策定にあたり考慮すべき基本方針（Ver. 2）」について協議、了解を得た。共生ゾーン整備対策などについて、 α 2 水路、 α 3 水路（下流側）の現状保全など基本的な方針を示した。また、平成 28 年度繁殖実験地のモニタリング調査（速報）を報告。
- ・ 平成 29 年 4 月 6 日：第 90 回ワーキング会議 …… 平成 28 年度繁殖実験地のモニタリング調査結果を報告。
- ・ 平成 30 年 2 月 16 日（第 105 回ワーキング会議）
- ・ 平成 30 年 3 月 27 日（第 106 回ワーキング会議）
- ・ 平成 30 年 4 月 17 日（第 107 回ワーキング会議）
- } 公園におけるアユモドキ保全
対策のとりまとめについて協
議
- 平成 30 年 4 月 17 日：第 36 回環境保全専門家会議
 - 「京都・亀岡保津川公園」におけるアユモドキ保全のための対策の検討経過を報告。
「亀岡市都市計画公園及び京都スタジアム（仮称）の整備計画の策定にあたり考慮
- ・ 平成 30 年 4 月 27 日（第 108 回ワーキング会議）
- ・ 平成 30 年 5 月 22 日（第 109 回ワーキング会議）

(編集注：斜字体は第 37 回環境保全専門家会議資料作成時に追記)